

森のおくりもの 9月



ミゾソバ (タデ科)



写真：菊池正行

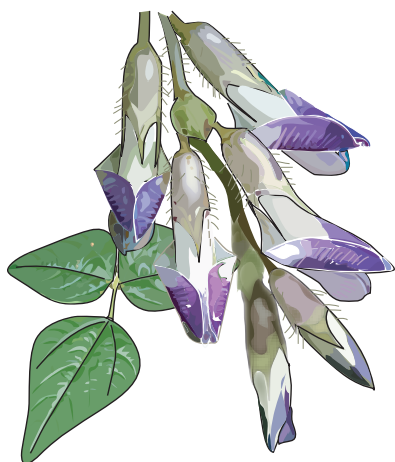
記録続出の猛暑の夏もなんとか終わり、自然観察の森ではゆっくり秋へと変化をはじめているようです。これから冬が来るまでの間、いろいろな表情を見せつつ移りかわる森の秋を動物や植物をとおして感じていただければと思います。まずは、初秋の森をお楽しみください。 (館長 菊池正行)

上からも下からもマメをつくって 子孫を増やす「ヤブマメ」



今回は9月下旬ごろに花が咲き始めるツル性のマメ科植物の紹介です。

土の中で花からマメができる ヤブマメ（ギンマメ）

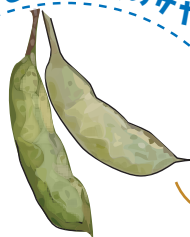


紫色の毛深い花をつけるツル植物「ヤブマメ」は、なんと地下にも花をつけて、果実をつくります。

多年草は、地上部が枯れても根が生き残り、親の生息地を引き継ぐことができますが、ヤブマメは1年草なので、同じようにはいきません。が、地中に（地上より大きい）タネをつくり、高い確率でまた同じ場所に生息することができるように（多年草の球根などと同じ役割を）しているのです。土の中の花やタネを見てみたいですね。

晩秋、茎の基部から細い地下茎をのばし、その先に閉鎖花*をつけてタネを作ります。地上のマメと比べて約2倍の大きさがあるのも驚きです。より確実に子孫を残す為なのでしょうか。

地上にできた果実のサヤ



ふつう3個のタネが入っている。
(10月ごろ)

サヤは熟すと、くるっとねじれて、中の種子（豆）を数メートルもはじき飛ばします。

● 地上にできたタネ
【約5mm】
→母植物とは異なる遺伝子

地下にできた果実のサヤ



















● 土の中にできたタネ
【約10mm】
→母植物と同じ遺伝子

【レンジャー：黒川周子】

*閉鎖花：閉じたまま自家受粉し実となる花

9月の生物ごよみ

植物

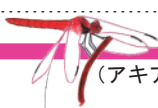
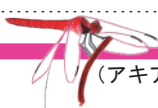




	8月		9月		10月
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
キバナアキギリ					
	(キバナアキギリ)		(ナガミノツルケマン)		
ナガミノツルケマン					
ノコンギク					
	(オクモジハグマ)		(ノコンギク)		
オクモジハグマ					
サワアザミ					
タムラソウ					
ミゾソバ					
	(タムラソウ)		(アキノキリンソウ)		
アキノキリンソウ					
	(ミゾソバ)		(サワアザミ)		

8月21日 やすらぎの道を巡回中、見かけないチョウに出会いました。近くの木にとまったのでよくみると、なんとキベリタテハでした。キベリタテハは普通、高地帯にいるチョウで、この森で見たのは初めてです。すぐ写真を撮ろうとしたのですが、シャッターを切るまえに飛び去ってしまいました。ああ、残念・・・。



キベリタテハ (タテハチョウ科)

昆虫

	8月		9月		10月
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
アキアカネ					
			(アキアカネ)		
エンマコオロギ					
			(エンマコオロギ)		
カンタン					
			(カンタン)		

【レンジャー：齋 正宏】

レンジャー苑 木もれびBLOG



略してコモブロ 第16回『クラフトづくりに燃えた夏』

あの暑かった夏の日、自然観察センターの研修室も暑くなりました。さる8月16日のお盆休み中、イベント「森の素材でつくる夏のクラフト」が開催されました。

このイベントは、森で集めたどんぐりや木の枝を組み合わせ、自分だけのオリジナル作品をつくるというものでした。会場となった研修室には親子連れが大勢来て下さり、皆さん思い思いの作品づくりに没頭していました。



自分が望む形の木がない場合は、自分でのこぎりで切って作るしかありません。普段のこぎりなんか使ったことがない子供たちやお母さん方は四苦八苦しながらも懸命にのこぎりと格闘していました。

そんな苦勞をして作り上げた作品に、皆さん大満足されたようで、最後は笑顔ホクホクで大事そうに作品をかかえて帰る姿が印象的でした。

ちなみに、会場にあったたくさんの木の実や小枝は、レンジャーがひとつひとつ森から拾い集めたものです。今回のクラフトは、用意してあった素材で作りましたが、いつかは素材そのものを自分で集めるところから始めるイベントもやってみたいと思います。



【レンジャー：高橋千尋】



～太白山自然観察の森と出会って～

私たちが自然観察の森に初めて来たときから、もう一年が経とうとしています。私たちは、この森で得たものが2つあります（もちろんもっとありますよ）。一つは好きなものが同じ人たちとの出会い、もう一つは発見や知ることの喜びです。

自然観察の森では、生き物が大好きな人たちが集まり、共に充実した時間を過ごすことができます。レンジャーや講師の方々、イベントにいっしょに参加する皆さんからいろんなことをたくさん教えていただきました。

私たちの大学周辺に出没する生き物たちの耳寄り情報をゲットすると、友達と探しに行っても思わぬ発見を得ることもありました。自然観察の森は、人と喜びを共有する楽しさを教えてくれる素晴らしい場所です。

また、観察の森に通うようになって、私たちは身の周りの生き物たちについて知り、日常生活が豊かになったと感じています。例えば「おはよう野鳥かんさつ」に参加した後、普段何気なく聞こえていた鳥の声が季節を感じさせてくれるようになりました。また鳥を見かけると「あっっ！この鳥は〇〇だ!」という発見の喜びを与えてくれる存在となりました。

人が人らしく生きるにあたって「知る」ということは本当に重要なことであり、物の見方を変え、人生を充実させてくれます。

これからも、自然観察の森で出会いを大切にしながら、多くの知識を吸収していきたいと思います。そしてゆくゆくはレンジャーさんを越えます！



ガイドウォークで熱心にレンジャーの話を聞く私

【文章&写真：宮城大学食産業学部2年 瀬ヶ沼 安寿・片野 慶一】

9月のイベント&お知らせ

『虫むしめっけ♪』

未就学児童を対象とした観察会です。
自然と親しみたい家族大募集！



- 【日 時】14日(土) 10時～11時30分
- 【持ち物】長袖・長ズボン、虫よけなど
- 【対 象】未就学児童とその家族
10名(応募多数の場合抽選)
- 【料 金】無料
- 【申込み】メールか往復ハガキで

9月9日必着

『獺師気分で森あるき ・秋を感じる森編』

哺乳類が残した生活痕跡(フィールドサイン)を探しながら初秋の森を歩きます。



- 【日 時】28日(土) 10時～14時
- 【持ち物】長袖・長ズボン、昼食など
- 【対 象】一般先着15名
- 【料 金】無料
- 【申込み】9月6日(金) 9時から電話
受付開始

イベント申込用



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

9月の開催日は

1日, 8日, 15日, 22日, 29日

午前の部10:00～11:30 午後の部13:30～15:00

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。
29日の午後は館長によるガイドウォーク
「館長と森を歩こう」です。

表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね！
レンジャーからのプレゼント
があるよっ！

9月の休館日

2日、9日、17日
24日、30日

♪森へおいでください♪



宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



Webから「森のおくりもの」が
カラーでご覧になれます。

「**太白山 森のおくりもの**」で検索。

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2013年9月号(毎月1回5日発行)

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp